

体育学専攻

領域科目(コーチング学分野)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH292	コーチング論・トレーニング学演習II	2	3.0	2	通年	随時		前村 公彦, 松元剛, 河合 季信, 谷川 聡, 木内 敦詞	スポーツ・コーチング及びトレーニングに関して、より発展的な内容に関して、内外文献の抄読や実践を行い、研究手法を身につけ論文作成能力を養う。	OATP9A2と同一。対面
01EH365	コーチング学特別演習II	2	3.0	2	春AB	随時		渡辺 良夫	年度途中に修了するコーチング学分野の学生は、領域科目の個別研究領域の演習IIの代わりに、この科目を履修する。専門文献、研究資料などの講読し、それについてディスカッションを行う。スポーツに関する研究法について学習し、研究を遂行する上で必要な基本概念、手段、手順などについて深く理解し、研究力を向上させる。関連分野の研究成果について議論することによって自分自身のテーマを決定し、修士学位論文を作成する。	年度途中修了予定者のみ履修可 OATP9U2と同一。

コース科目(スポーツ文化・経営政策コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH433	スポーツマーケティング論	1	1.0	1・2	春C	集中		醍醐 笑部, 清水 紀宏	スポーツマーケティングの目的、方法に関する基礎理論を理解するとともに、商業スポーツ施設経営やスポーツイベント経営など具体的なスポーツ経営を事例にした検討を通して、実践的な考え方を養う。	OATP143と同一。対面(オンライン併用型) 原則として対面で実施するが、場合によってはオンライン(同時双方向型)を併用する。
01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	5C407	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。対面

コース科目(健康・スポーツ教育コース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH465	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1					カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	AT必修科目 OATP204と同一。 2024年度開講せず。 AT必修科目。対面
01EH621	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1	5C508	前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティとその研究方法論について学んでいく。	OAS0203と同一。(2023年度まで開講) OATP502と同一。 AT必修科目。対面
01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	5C407	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。対面

コース科目(ヘルスフィットネスコース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
------	-----	------	-----	--------	------	-----	----	------	------	----

01EH531	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2	5C416	武政 徹,西保 岳, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関する骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード:重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード:ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目 OATP302と同一。 AT必修科目: 対面
01EH532	スポーツ生化学特講	1	1.0	1	春AB	火1	5C308	征矢 英昭,岡本 正洋,松井 崇	スポーツ生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、スポーツ生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な基礎的能力を身に着ける。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関してスポーツ生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。演習の最後に受講生の発表会を行い、教員と受講生の間で討議を行う。参考図書:脳を鍛えるには運動しかない(NHK 出版)、からだの中からストレスをみる(学会出版センター)、使えるスポーツサイエンス(講談社サイエンティ)	AT必修科目 OATP303と同一。 AT必修科目: 対面
01EH533	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	秋AB	月2		麻見 直美,下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーメールアスリートトライアドを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	AT必修科目 OATP304と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)
01EH550	健康増進学特講	1	1.0	1・2	春AB	NT		大藏 倫博	加齢に伴う生活機能の変化と健康との関連に基づき、健康増進(サクセスフルエイジング)に必要なトレーニング法、生活実践法などについて講義する。一般健常者、高齢者、有疾患者に対する運動処方についても講義する。学習目標は、中年期から高齢期までのヘルスプロモーションのあり方および加齢にともなう体力(生活機能)の低下と健康との関連について理解することである。特に、サクセスフルエイジング、元氣長寿のための運動プログラム、中年期における体重管理の意義、健康におよぼす運動習慣化の効果、保健指導の問題点と健康支援の重要性、統計データから読み解く高齢者問題、生活機能、身体機能と介護予防の関係、認知機能と介護予防の関係、心理社会機能と介護予防の関係について学ぶ。	OAS0202と同一。 オンライン(オンデマンド型)
01EH553	スポーツ生理学実験	3	2.0	1・2	春AB秋AB	金4,5		武政 徹,西保 岳, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関する骨格筋系、呼吸循環系の下記のキーワードに関する研究方法を理解することを目的として、実験実習を行う。履修はスポーツ生理学の基礎を学んだものに限る。 骨格筋系のキーワード:筋肥大、筋持久力増強、筋萎縮を誘導する動物(マウス)実験系、打撲刺激、鍼刺激、切片の免疫組織化学、蛋白質解析(ウエスタンブロット)、mRNA解析(Real-time PCR)、培養骨格筋細胞、細胞外フラックスアナライザー 呼吸循環系のキーワード:最大酸素摂取量、血管機能測定、呼吸機能測定、体温調節機能	スポーツ生理学特講の受講者に限る 原則、運動生理学領域に所属する学生のみ受講可能とする OATP312と同一。 要相談
01EH554	スポーツ生化学実験	3	2.0	1・2	秋AB	火1,2	5C302	征矢 英昭,岡本 正洋,松井 崇	実験を行うことを通して、実験機材の取り扱いかた、研究資料の収集法、実験材料の分析法を身に着ける。これによって、運動と代謝・内分泌応答に関する基礎的測定と評価法を理解し、研究を遂行できる実践能力を養成する。	スポーツ生化学特講の受講者に限る OATP313と同一。 対面
01EH556	体力学実習	3	2.0	1・2	春ABC秋AB	随時		鍋倉 賢治,木塚 朝博,小野 誠司,榎本 靖士	体力科学、体力・運動能力、体力トレーニング、運動遊びなどに関する国内外の学術論文、解説、著書、マニュアルなどを参考に、体力学領域における研究計画、研究方法、プレゼンテーションについて実習する。	体力学領域の所属学生に限る。教室:5C127 OATP314と同一。 対面
01EH557	健康増進学実習	3	2.0	1・2	春ABC秋AB	随時		大藏 倫博,渡部 厚一	一般健常者、高齢者、有疾患者を対象とした健康指標の検査・測定方法およびトレーニング方法の実際を学習する。学習目標は、中年から高齢者、有疾患者を対象とした健康運動指導法および健康支援法に関する実際を学び、基本的な指導ができるようになることである。	原則として、健康増進学領域の所属学生に限る OATP315と同一。 対面

01EH576	スポーツバイオメカニクス特講	1	1.0	1	秋AB	火4	50513	藤井 範久	スポーツ動作や様々な基礎的運動をバイオメカニクスの側面から考察するために必要な基礎事項や分析手法、特に逆動力学的計算について解説する。具体的には、並進運動および回転運動における力学的法則を確認した後、剛体リンクモデルによる関節トルク算出手法について解説する。その際に、身体部分慣性特性係数についても解説するとともに、体育総合実験棟において身体運動の計測方法、地面反力の計測方法についても実演を行う。さらに、得られたデータをもとに、動作の変動性係数や動作逸脱度を用いた身体運動を評価する方法を解説する。	OATP402と同一。 AT必修科目：対面
01EH577	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2	50317	小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	OATP403と同一。 対面
01EH563	アスレティックトレーナー特講	1	1.0	1・2	春AB	随時	SPEC2階	竹村 雅裕, 福田 崇	アスレティックトレーナーの現状を把握し、現在まで発展してきた経緯と遺産を理解する。歴史的背景からみたアスレティックトレーナー成り立ちや現代社会における特徴をまとめ、その将来を展望する能力を養う。	AT必修科目 OATP412と同一。 AT必修科目：対面(オンライン併用型)
01EH621	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1	50508	前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティとその研究方法論について学んでいく。	OAS0203と同一。(2023年度まで開講) OATP502と同一。 AT必修科目：対面
01EH465	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1					カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	AT必修科目 OATP204と同一。 2024年度開講せず。 AT必修科目：対面
01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	50407	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。 対面
01EH433	スポーツマーケティング論	1	1.0	1・2	春C	集中		醍醐 笑部, 清水 紀宏	スポーツマーケティングの目的、方法に関する基礎理論を理解するとともに、商業スポーツ施設経営やスポーツイベント経営など具体的なスポーツ経営を事例にした検討を通して、実践的な考え方を養う。	OATP143と同一。 対面(オンライン併用型) 原則として対面で実施するが、場合によってはオンライン(同時双方向型)を併用する。

コース科目(アスレティックコンディショニングコース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH533	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	秋AB	月2		麻見 直美, 下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーマールアスリートトライアドを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	AT必修科目 OATP304と同一。 AT必修科目：オンライン(オンデマンド型)

01EH576	スポーツバイオメカニクス特講	1	1.0	1	秋AB	火4	50513	藤井 範久	スポーツ動作や様々な基礎的運動をバイオメカニクスの側面から考察するために必要な基礎事項や分析手法、特に逆動力学的計算について解説する。具体的には、並進運動および回転運動における力学的法則を確認した後、剛体リンクモデルによる関節トルク算出手法について解説する。その際に、身体部分慣性特性係数についても解説するとともに、体育総合実験棟において身体運動の計測方法、地面反力の計測方法についても実演を行う。さらに、得られたデータをもとに、動作の変動性係数や動作逸脱度を用いた身体運動を評価する方法を解説する。	OATP402と同一。 AT必修科目： 対面
01EH577	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2	50317	小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	OATP403と同一。 対面
01EH563	アスレティックトレーナー特講	1	1.0	1・2	春AB	随時	SPEC2階	竹村 雅裕, 福田 崇	アスレティックトレーナーの現状を把握し、現在まで発展してきた経緯と遺産を理解する。歴史的背景からみたアスレティックトレーナー成り立ちや現代社会における特徴をまとめ、その将来を展望する能力を養う。	AT必修科目 OATP412と同一。 AT必修科目： 対面(オンライン併用型)
01EH621	トレーニング学	1	2.0	1	春AB秋AB	木1	50508	前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	OAS0203と同一。(2023年度まで開講) OATP502と同一。 AT必修科目： 対面
01EH531	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2	50416	武政 徹, 西保 岳, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード:重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード:ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目 OATP302と同一。 AT必修科目： 対面
01EH532	スポーツ生化学特講	1	1.0	1	春AB	火1	50308	征矢 英昭, 岡本 正洋, 松井 崇	スポーツ生化学に関する国内外の専門書、文献、研究論文等を講読し、スポーツ生化学の対象領域、基本概念、研究方法などを学習することによって研究に必要な基礎的能力を身に着ける。運動が身心に及ぼす影響とトレーニング効果に関してスポーツ生化学の立場から理解を深め、健康や運動パフォーマンスの維持・増進のメカニズムを理解する。演習の最後に受講生の発表会を行い、教員と受講生の間で討議を行う。参考図書:脳を鍛えるには運動しかない(NHK 出版)、からだの中からストレスをみる(学会出版センター)、使えるスポーツサイエンス(講談社サイエンティ)	AT必修科目 OATP303と同一。 AT必修科目： 対面
01EH465	スポーツカウンセリング論	1	1.0	1					カウンセリングの基本的な理論と技法を理解するとともに、スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の健康増進および競技や日常生活におけるパフォーマンスの向上を目的とした指導や援助の基本的技術を学ぶ。スポーツ競技者や生徒や一般成人の心身の問題の改善やパフォーマンス向上を目的とした心理的サポートとして、指導者や援助者に必要なカウンセリングの理論と方法を、健康心理学およびスポーツ心理学の最新の知見を踏まえて学ぶ。	AT必修科目 OATP204と同一。 2024年度開講せず。 AT必修科目： 対面

コース科目(コーチングコース)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考	
01EH621	トレーニング学		1	2.0	1	春AB秋AB	木1	50508	前村 公彦, 谷川 聡	スポーツトレーニングを推進するための適切な目標と課題の設定法、課題解決法や手段の選択・創造法、時間資源と時系列的な関連性を考慮した計画立案法、効果的なトレーニング実践法、トレーニング効果のアセスメント法に関する理論を理解し、高度なトレーニング実践を展開できる知を学習する。また、トレーニング学独自の学領域としてのオリジナリティーとその研究方法論について学んでいく。	OAS0203と同一。(2023年度まで開講) OATP502と同一。 AT必修科目： 対面

01EH439	スポーツリスクマネジメント論	1	1.0	1	秋AB	火4	5C407	齋藤 健司	スポーツ活動におけるリスクマネジメント理論の応用を検討するとともに、スポーツ事故の法的責任、安全対策および事故防止策についての理解を深める。 リスクマネジメントの枠組み、プロセスなどの理論とそのスポーツへの応用、体育・スポーツ事故の統計データと事故原因、突然死、頭部外傷、脳震盪、熱中症、溺水事故、自然災害などの原因と対策、中止基準、健康調査、スポーツ事故の法的責任、スポーツ施設の法的責任、免責同意書等の法的防御書類などについて、事故事例及び判例を交えて解説する。	OATP142と同一。 対面
01EH577	スポーツ用具と動きのしくみ	1	1.0	1・2	春AB	金2	5C317	小池 関也	スポーツ用具の性能向上のためのしくみについて紹介するとともに、パフォーマンス実現のための動きのしくみ(メカニズム)について解説する。用具として、各種打具、シューズ、各種ボール、水着などを例に挙げ、パフォーマンスに関係する各種特性について、物理的な現象面あるいは生体力学的な視点から解説する。つぎに、スポーツ動作の各種分析手法を紹介したのちに、これらの分析手法を活用して得た各種動作の分析結果から、スポーツ動作における動きのしくみについて解説し、パフォーマンスの発揮メカニズムについて紹介する。	OATP403と同一。 対面
01EH531	スポーツ生理学特講	1	1.0	1	春AB	水2	5C416	武政 徹,西保 岳, 藤井 直人	スポーツ、トレーニング及び健康増進に関わる骨格筋系、呼吸循環及び体温調節系の役割について理解するため、以下のキーワードに関連して解説する。 骨格筋系のキーワード:重村式トレーニング法、筋肥大、遺伝子ドーピング、サルコペニア、冬眠、レーシングパフォーマンスを上げる遺伝子、老化を遅らせる運動 呼吸循環系のキーワード:ガス交換、酸素摂取量、血管調節、発汗調節、高地トレーニング、暑熱順化、水分調節	AT必修科目 OATP302と同一。 AT必修科目: 対面
01EH533	スポーツ栄養学特講	1	1.0	1・2	秋AB	月2		麻見 直美, 下山 寛之	時代に即したスポーツ・運動栄養学への理解を深めるために、運動(身体活動)、トレーニング、スポーツに関連した栄養、食生活、食事摂取基準、酸化ストレス、抗酸化ビタミン、エネルギー代謝、糖代謝、脂質代謝、タンパク代謝、骨(フィーマールアスリートトライアドを含む)、貧血、水分代謝、休養(睡眠・時差)などのトピックスを取りあげて、講義を行う。加えて、スポーツ栄養の今日的現場課題について問題理解と解決策検討について議論する。	AT必修科目 OATP304と同一。 AT必修科目: オンライン(オンデマンド型)

研究基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EH024	International Sport Policy Studies(国際スポーツ政策研究)	1	1.0	1・2	春C	集中		永田 真一, Bloyce Daniel	本講義では、主に英国やヨーロッパにおける事例を紹介しながら、スポーツ政策の国際的動向について把握するとともに、それらの諸実践を分析するための理論的枠組みについて理解することを目的とする。具体的には、教員による講義および履修学生によるプレゼンテーションを通じて、開発と平和のためのスポーツ、エリートスポーツ、オリンピック・パラリンピックのレガシーなどに関わる政策を対象としながら、スポーツ政策の国際的動向と課題、そして今後の可能性について学修する。	筑波開設科目。 OAVA106と同一。(2023年度まで開講) OATP021と同一。 英語で授業。 対面
01EH025	Advanced Coach Education(上級コーチ教育論)	1	1.0	1・2	春AB	水2	GSI棟 301	松元 剛, 中山 紗織, 和久 貴洋, 渕上 真帆, 渡部 厚一, 福田 崇	トレーニング方法、情報戦略、国際的な動向など、指導者の質保障を多面的にとらえ、指導者育成の観点からコーチ教育について考える。	筑波開設科目。 OAVA110と同一。(2023年度まで開講) OATP022と同一。 英語で授業。 対面
01EH026	Management and Organization(経営マネジメント論)	1	1.0	1・2	春C	集中		山口 拓, 矢沢 大悟	スポーツ国際開発学の理論と実践を概観し、国際的・社会的・文化的な課題解決に向けたスポーツによる取り組みを学ぶ。 講義では、特に開発課題に焦点化して、諸課題の特性と持続可能な平和的社会的実現に向けたスポーツの役割に関して討論形式で学ぶ。 更に、スポーツ国際開発(IDS)のマッピング、NGOでのIDS活動、組織マネジメント理論、ケース探索と理論的適応などを議論を踏まえて検討する。	筑波開設科目。 OAVA202と同一。(2023年度まで開講) OATP023と同一。 英語で授業。 対面、オンライン(同時双方向型) オンデマンド型と併用
01EH027	Project Management(プロジェクトマネジメント論)	1	1.0	1・2	秋B	集中	GSI棟 301	山口 拓, 板垣 啓子	開発援助の実践力を高めるべくロジックモデルを改変された「プロジェクト・サイクル・マネジメント」に沿った計画・評価の手法を学ぶ。 ・基礎講座:国際協力のトレンド、プロジェクトのPDCAサイクル ・実践講座:ケールスタディーを用いた実践的検討:プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)、プロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)、評価・モニタリング手法	筑波開設科目。 OAVA203と同一。(2023年度まで開講) OATP024と同一。 英語で授業。 対面

01EH032	Sport, Culture and Society (スポーツ・文化・社会)	1	1.0	1・2	秋AB	木1	GSI棟 301	清水 諭, 白井 宏 昌	スポーツ社会学における理論と実践的研究を基礎にして、スポーツを通じた国際開発と平和構築に関する批判的思考力を身につける。 スポーツと身体に関する具体的事例について討議を行い、権力の作用について学習する。IDS・SDPの理論について理解し、実践に関する批判的思考力を身につける。	筑波開設科目。 OAVA104と同一。(2023 年度まで開講) OATP041と同一。 英語で授業。 対面
---------	---	---	-----	-----	-----	----	-------------	-----------------	---	---